

残響室法吸音率測定のご案内

1. 測定概要および手続き

- (1) 測定方法：日本工業規格 J I S A 1 4 0 9 :1998 「残響室法吸音率の測定方法」に準拠。
- (2) 測定周波数範囲：1 / 3 オクターブバンド中心周波数100～5000Hzの18バンド。
- (3) 日程の予約：電話で担当者と試験内容についてご相談の上、測定実施日をご予約ください。
 - ①試験体の名称 ②数量 ③設置条件 ④測定希望日時 ⑤連絡先 ⑥そのほか測定に必要な事項
- (4) 資料の提出：下記資料を測定実施日の1週間前までに提出願います。(郵送、電子データ、FAX)
 - ①試験体の図面：試験体の名称、構造、材料名および寸法が記載されており、成績証明書に添付できるもの。表現は、別紙を参照してください。A4、縦サイズで試験体別に作成のこと。
 - ②測定時における試験体の配置図：別紙を参考にしてください。試料面積を記入のこと。
 - ③作業のタイムスケジュール表：残響室法吸音率は、試料設置時と空室時の残響時間から算出します。
残響時間の測定所要時間は、試料設置時と空室時それぞれ約15分。
- (5) 測定依頼の申込み：測定開始までに書面に必要事項を記入していただきます。①品名、②製造者、③型番、④仕様など、試験報告書に記載したい事項をあらかじめ検討しておいてください。
- (6) 依頼品等の撮影：敷地内および館内は撮影禁止です。依頼品(取付治具を含む)、依頼品を設置する室等の撮影は、申込時の許可が必要です。
- (7) 手数料
 - 1 試験体あたり 一般企業52,850円 中小企業37,330円※複数試験体の場合：一般企業52,850円 × 試験体数 中小企業37,330円 × 試験体数
なお、当センターでは前払いとなっておりますので、測定当日にカードでお支払いいただくか、事前に銀行又はコンビニからお振込みください。
- (8) 試験報告書の発行：測定終了後1～2週間。窓口で受取ご希望の際は「試験申込書及び承諾書」の控えを持参してください。

2. 作業

- (1) 時間：9時15分～17時00分。(12時～13時 昼休み)
- (2) 担当職員の指示に従ってください。
- (3) 試験体の搬入・設置・搬出・残材処理および清掃は、依頼者が実施してください。
なお、当日搬入・当日搬出となっております。また、当所にはクレーン等の設備はございません。
- (4) 作業で使う工具や手袋等は持参してください。
- (5) 残響室内外を傷つけないようにしてください。
- (6) 作業に当たっては **安全面に十分注意** して、怪我のないようお願いします。

3. 試験体の条件 (JIS A 1409 :1998 による)

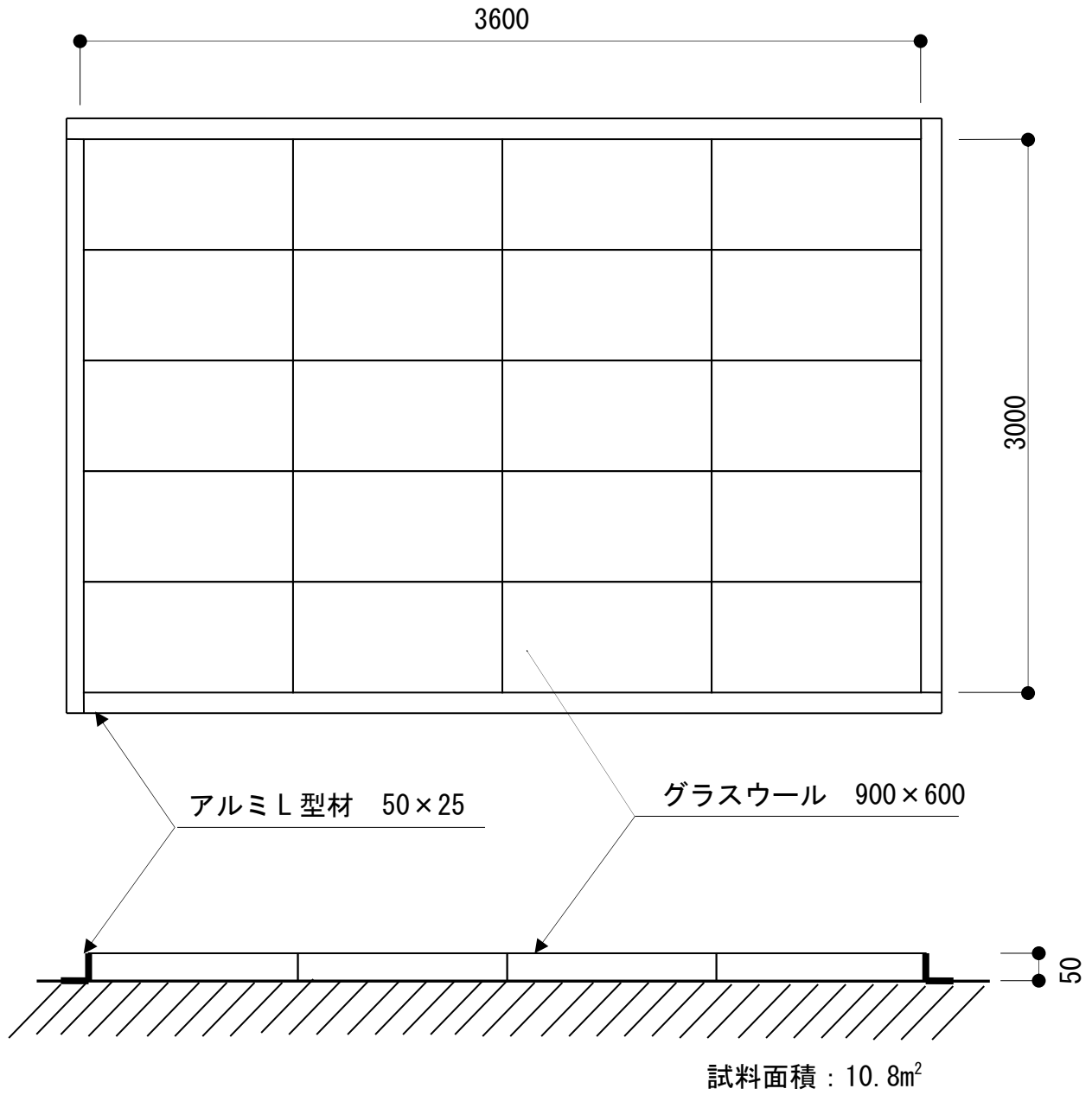
- (1) 測定に必要な試料面積は、10.4～12.3㎡とします。
- (2) 長さに対する幅の比は、0.7～1.0の長方形とします。
- (3) 試験体は残響室内の床面中央に配置します。(具体的な位置は測定のとときに指示します)
- (4) 試験体は実際の使用状態に準じて設置し、その周辺は反射性の材料で囲ってください。

(図面例)

試料の名称：グラスウール

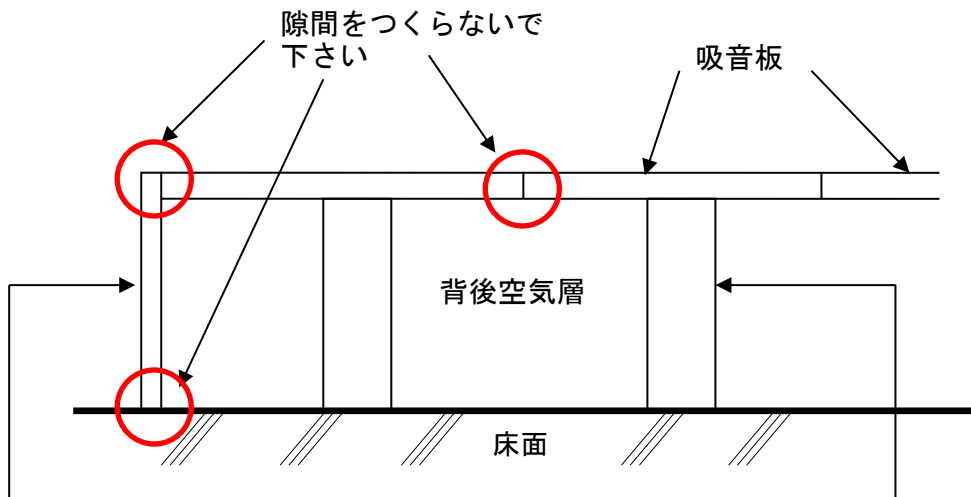
仕様 密度：32kg/m³

1枚当たりの寸法：W900×D600×T50



配置図 (単位：mm)

背後空気層の取り方



- ・アルミ板、木板など反射性の板で並べた吸音板の周囲を囲って下さい。
- ・板が倒れないようにして下さい。

- ・支持材で背後空気層を取って下さい。
- ・上に載せた吸音板が落ちないようにして下さい。
- ・支持材は等間隔で並べて下さい。